

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2025年11月1日（土） 14:30～15:30	ポスター発表①	P1-1	砂川 芽吹	「自閉症」の用語に関する調査	よりよい用語の検討に向けて
		P1-2	松本 敏治	「自閉症は津軽弁を話さない」現象を手がかりに考える：注意・随伴性・繰り返しに基づく言語習得の新たな理解	
		P1-3	鶴巻 正子	「通級による指導」が学習空白に及ぼす影響	一保護者と教員への予備的Web調査の結果から一
		P1-4	佐藤 里美	2E生徒の自己調整学習を促す支援モデルの構築と その発達の意義	
		P1-5	尾川 周平	ADHD者における時間的展望の実態	
		P1-6	松田 千皓	ASD者と非ASD者におけるカモフラージュ行動の違いについて	
		P1-7	島田 恭仁	MAD型読解指導法の教科学習への応用	プランニングの弱さのある児童の学習支援
		P1-8	今井 彩	キャリア・パスポートの活用が特別支援学校高等部教員の指導意識に与える影響	知的障害を主とする特別支援学校を対象としたキャリア教育を行う上での意識調査から
		P1-9	富田 文子	グループホームを利用する知的障害者の企業就労時における 就労支援事業所の一時利用を活用した支援の有効性	生活課題の改善と就労継続に向けた自治体との連携による実践報告
		P1-10	清水 里美	コロナ禍は子どもの発達にどのような影響をおよぼしたか	新版K式発達検査2020における図形模写課題の通過率の比較から
		P1-11	川島 直子	シンガポールにおける幼児期の障害がある子どもの早期介入支援	一E1幼児教育者養成と個別支援の仕組み、日本への示唆一
		P1-12	高野 美由紀	ストーリーテリングによる特別支援教育の実践Ⅲ	小学校高学年向け小集団言語コミュニケーション・プログラムにおける個に応じた指導・支援
		P1-13	多田 陽南	すべての児童生徒が参加できる 体育授業構築支援AIツールの開発と検証	一 ChatGPTsを活用した対話型授業構築支援 一
		P1-14	藤後 悦子	スポーツを通じたインクルーシブ教育の実践	障害児とのサッカー交流が大学生の障害理解に与える効果
		P1-15	佐々木 銀河	スポーツ観戦施設におけるセンサリールーム設置の効果検証	知的・発達障害児とその家族にもたらす影響
		P1-16	野崎 義和	レット症候群児・者とその家族が直面する地域生活上のバリアと地域社会に対する要望・期待	
		P1-17	遠藤 汐莉	学習空白のある発達障害の児童生徒に対する 学生ボランティアの学び	
		P1-18	下地 恭子	気になる子へのコミュニケーション支援の手掛かり	一 カラーメンタリングを使用して 一
		P1-19	佐野 昌子	教員養成課程における教育相談の認識と スクールカウンセラー利用経験の関連性の検討	
		P1-20	日隈 利香	九州管内の児童発達支援・放課後等デイサービス施設における防災教育に関する調査研究	鹿児島県と鹿児島県外の比較調査
2025年11月1日（土） 14:30～15:30	ポスター発表②	P2-1	青木 雄一	呼びかけ時に他者の視線を参照することの発達の背景とは	ASD児と教師との相互作用に関するプロトコルデータの分析を通じて
		P2-2	相馬 大祐	法定研修と業務実施地域のOJTが連動した相談支援専門員の人材育成体制構築に関する研究	
		P2-3	石井 裕谷	高等学校における特別支援教育の理解啓発	お便りを活用した理解啓発の有効性
		P2-4	小川 彩	高等特別支援学校における校内研修による教員の専門性向上	中堅教員対象の語り合いカフェの試行
		P2-5	古山 貴仁	在外教育施設における特別支援教育の実践に関する文献研究	在外教育施設における指導実践記録集から
		P2-6	石川 祥子	市町村保健師の保護者支援の現状と今後の展望	一保健師経験年数と自治体規模の比較一
		P2-7	刀禰 豊	視覚障害教育における卒業後の充実した生活を充実させるための継続的な支援の在り方	拡張されたコアカリキュラムを卒業後の充実した余暇等のキャリア発達支援に生かす
		P2-8	石井 啓子	知的障がい児の性行動に対する母親の意識変容プロセス	
		P2-9	片山 優美子	就職支援に関するアプローチの自由記述における 発達・知的・精神障害の相違に関する分析	
		P2-10	岩崎 あすみ	就労移行支援事業所における発達障害者に対するソフトスキルの支援	BWAP2を用いた事例検討
		P2-11	宮西 真杏	知的発達症を伴う自閉スペクトラム症児者の常同行動に対して周囲の否定的態度が生じる要因	
		P2-12	澤田 哲寛	特別支援学校のチーム支援による重度知的障害生徒の活動参加の促進と座り込み行動の低減	

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2025年11月1日（土） 16:00～17:00	ポスター発表③	P3-1	金城 尚義	引き継ぎの課題を契機としたインクルーシブな支援体制の構築	専門性のある支援員の介入がもたらした教職員の意識と実践の変容
		P3-2	肥後 祥治	応用行動分析の習得知識の測定に関する研究 4	－ KBPAC II の改訂：誤答分析機能の付与－
		P3-3	今村 幸子	応用行動分析の習得知識の測定に関する研究 5	支援学校教員の行動論的知識の状況：KBPAC II-R（仮称）を用いて
		P3-4	陳 依文	外国人幼児の就学支援における保育士の工夫と実践的課題	
		P3-5	本間 伸吾	学校規模ポジティブ行動支援に基づく児童の望ましい行動の促進	教職員の協力体制を中心に
		P3-6	中村 理美	漢字書字困難児に対する代替手段を活用した学習支援の実践	
		P3-7	宮崎 光明	機能的行動評価に基づく行動介入計画作成支援AIツールの開発と検証	－ ChatGPTsを活用した対話型行動評価・介入支援－
		P3-8	田中 駿	就労継続支援事業所利用者の知的発達と職業スキルとの関連	自閉スペクトラム症の診断の有無を考慮して
		P3-9	野口 裕子	集団で行う5歳児健康診査の実態と課題に関する文献検討	
		P3-10	野住 明美	小中高等学校管理職と中堅教員の 特別支援教育に関する知識と関連要因	
		P3-11	東俣 淳子	障がいのある子どもが利用する医療関係機関との連携に関する実態調査	地域支援における専門職種間連携に向けて
		P3-12	根本 治代	障害者雇用における職場適応を媒介するプロアクティブ行動	エンプロイアビリティとの関係性に着目して
		P3-13	村岡 美幸	障害者支援施設等で看取りを行った契機と課題	-看取り実践事業所へのヒアリング調査結果をととして-
		P3-14	藤本 りつ子	上海日本人幼稚園・小学校における発達支援の現状とニーズ	－社会福祉法人によるオンライン教職員支援の取組から見えてきたもの－
		P3-15	岡本 郁子	人工呼吸器を使用する児童生徒の教育機会保障に関する研究	医療的ケア児支援センターへのアンケート調査より
		P3-16	出水 友理亜	性別違和をもつ自閉スペクトラム症の人々の社会的カモフラージュ行動とメンタルヘルス	
		P3-17	大槻 穂萌	成人期ダウン症者の自己決定に関する調査	－保護者評定に基づく検討－
		P3-18	鯛 海音	成人期ダウン症者の余暇活動に関する調査	
		P3-19	山本 崇史	仙台市における聴覚・言語障害児等への支援システムと言語聴覚士の果たす役割	
		P3-20	白木澤 そのみ	仙台市における発達障害児者における支援システムについて(3)	～地域支援力向上に向けた学齢期の取り組み～
2025年11月1日（土） 16:00～17:00	ポスター発表④	P4-1	篤森 武夫	仙台市における発達障害児者に対する支援システムについて(1)	発達相談支援センターの果たす役割とその意義
		P4-2	鈴木 彩奈	仙台市における発達障害児者に対する支援システムについて(2)	～地域支援力向上に向けた乳幼児期の取り組み～
		P4-3	丹野 傑史	大学・教育委員会・学校の協働による地域の特別支援教育力向上に向けた取組の成果と課題	東御市における7年間の研修・巡回の記録分析から
		P4-4	中川 結月	知的障害を伴う自閉スペクトラム症（ASD）児の 絵カードを用いたコミュニケーション指導	
		P4-5	内城 あまね	知的障害者におけるカテゴリー柔軟性と概念の階層性	
		P4-6	菊池 優貴乃	知的障害者における運動プランニングの特徴	最終状態の安楽効果に対する知的機能の関与
		P4-7	平田 正吾	知的障害者における簡易的な知能検査の信頼性	
		P4-8	細川 かおり	知的障害者の主観的ウェルビーイングと余暇の実態と変容	特別支援学校卒業後の生活調査を通して
		P4-9	原田 晋吾	特別支援学校教員における強度行動障害の理解と支援実践	現場における対応経験と研修ニーズに関する予備的検討
		P4-10	上原 浩晃	特別支援学校小学部におけるダウン症児へのチーム支援による問題行動の改善	Motivation Assesment Scaleを用いた機能分析（実態把握）とストラテジーシートを用いた支援の共有
		P4-11	知名 青子	発達障害者が職業生活において希望する内容の性差の検討	～性別・雇用形態と職業生活において希望することの関連性分析を通じて～
		P4-12	岡本 結依	弄便が見られる人の特徴と支援について	国内外論文の先行研究レビューを通して

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2025年11月2日（日） 9:30～10:30	ポスター発表⑤	P5-1	発表取り下げ		
		P5-2	中山 瑛衣	ASDのある中学生へのゴミ捨て行動の形成に向けた家庭内支援	強化子の提示条件と強化スケジュールの調整が与える影響の検討
		P5-3	小島 道生	インクルーシブ場面を経験している知的障害児の自己評価と保護者の認識に関する予備的検討	
		P5-4	内山 聡至	強度行動障害の状態にある人への支援に関わる中核の人材養成の研修プログラムの開発	
		P5-5	後藤 光正	高校生に対する発達障害の対処法提案チャットボットによる支援の効果	
		P5-6	長壽 厚志	支援者による知的障害者への虐待要因についての研究	
		P5-7	檀 拓真	児童発達支援事業所におけるABA的介入の効果	様々な関わりを用いた保護者支援
		P5-8	中西 陽	自閉スペクトラム症のある児童に対するタブレット教材を用いたメンタルヘルス予防教育プログラムの予備的検討	
		P5-9	蜂須 麻矢	自閉スペクトラム症を有する児童の逸脱行動に対する支援	記録に基づく児童の行動傾向の把握と環境の構造化
		P5-10	宮田 賢吾	重度知的障害生徒の行動問題への協働的支援における教師の関与変化	支援会議の発言内容の分析
		P5-11	井上 雅彦	重篤な頭部自傷行動のある児における関連行動の変遷	
		P5-12	賀田 祐介	小学校授業におけるビジョンスライドによる児童の見やすさの促進	
		P5-13	兼子 裕名	小学校通常学級での相互依存型集団随伴性に基づく学習支援	児童の援助行動，負の副次的効果，漢字テスト成績への効果
		P5-14	提 雄輝	親子相互交流療法（PCIT）CDIフェーズが子どもの自然発話に与える影響の検討	一行動評価と自然発話構造分析による単一事例の縦断的検証一
		P5-15	岸良 隼人	専門学校生の発達障害特性に関する困難感への対処法を提案するチャットボットの効果	
		P5-16	西郷 俊介	単独型短期入所における成人期知的障害者の地域生活支援	強度行動障害のあるAさんへの取り組みから
		P5-17	奥西 允	知的障害者が入所する施設及びグループホームにおける看取りの受け入れ方針の規定要因	
		P5-18	狩谷 明美	知的障害者による支援者評価に関する研究	支援者へのアンケートの結果について
		P5-19	山口 遼	知的障害特別支援学校・特別支援学級におけるダウン症児・者の在籍状況に関する報告	
		P5-20	北野 原理	知的障害特別支援学校教員におけるカリキュラム・マネジメントの認識に関する研究	研修を契機とした認識の変容に着目して
2025年11月2日（日） 9:30～10:30	ポスター発表⑥	P6-1	本宮 久仁彦	知的障害特別支援学校教師の教師力量に関わる動機づけについての検討	子どもに対する個別的な支援や保護者との連携を学ぶ上で
		P6-2	五藤 博義	知能検査を子どもだけで行えるクラウドサービスの開発	毎回異なる問題を利用することで、複数回の検査を可能にする
		P6-3	乗田 開	地域障害者職業センターにおける発達障害者へのソフトスキルアセスメントの実施	一通所プログラムでのBWAP2を用いた支援一
		P6-4	小山 穂菜美	鳥取県の医療機関における発達障害および知的障害の医療連携に向けたアンケート調査	耳鼻科・皮膚科・整形外科・眼科等の診療科による回答の分析
		P6-5	熊谷 亮	通常学級に在籍する境界知能の児童の支援ニーズの実態	一小学校教員を対象とした質問紙調査から一
		P6-6	山口 有香	特別な支援を要する幼児を取り巻く現状と課題 ～保育者の意識が支援に及ぼす影響～	
		P6-7	染谷 雅広	特別な支援を要する幼児期の子どもと保護者に必要な支援に関する一考察	アンケート調査から得た保護者の「声」をもとに、「しん」の支援を探る
		P6-8	伊藤 宏之	特別支援学校高等部における進路選択・決定及び就労継続に及ぼす要因	
		P6-9	木村 柊里	日本の教育現場における作業療法士の専門性と活用の可能性について	インクルーシブ教育実現のための協働モデルの構築を目指して
		P6-10	田中 幸恵	発達障害の思春期・青年期の課題と支援（1）	一発達障害児の年齢と保護者の養育レジリエンスおよび家族機能の関連一
		P6-11	中嶋 理香	発達障害児（小学校低学年）の学校適応を考える	保護者を対象としたASIST解答結果からわかること
		P6-12	田中 里実	不安の高い幼児・児童の実態に関する調査（3）	有効な支援および保育者・教師の困りに関する検討

日時	セッション名	発表番号	筆頭発表者	主題	副題
2025年11月2日（日） 11:00～12:00	ポスター発表㉔	P7-1	中田 栞奈	インクルーシブ教育実践における児童と学級のあり方に関する調査研究	特別な教育的支援が必要な児童が学級に「なじむ」とは
		P7-2	小林 優子	視覚情報処理に困難を有する児童への認知特性に応じた書字指導	
		P7-3	長谷川 福子	自閉スペクトラム症児が興味を示す対象についての調査	
		P7-4	西郡 俊絵	授乳方法と子どもの4歳までの神経発達 ー子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）からー	
		P7-5	岡本 茉桜	情緒障害のある子どもに関する実態調査	ー幼児と児童との比較検討を通してー
		P7-6	佐藤 碧	情報認識・取得・活用におけるADHD者の困難に関する研究	ーADHD者のための情報保障に向けてー
		P7-7	全 有耳	新版K式発達検査2020を用いた発達の個人内差の検討	
		P7-8	土井 颯亮	性別違和/性別不合のある 発達障害者・精神障害者の特性に関する研究動向	自己概念の身体的側面に着目して
		P7-9	望月 太敦	児童発達支援センターに求める中核的役割の検討：5 地域におけるワーク・ショップの分析から	
		P7-10	田中 真一朗	知的障害のある児童の鑑賞指導における動的アプリの効果検証	
		P7-11	山元 薫	知的障害特別支援学級におけるラーニングマップ活用の効果	
		P7-12	手塚 公志朗	知的障害特別支援学校における自立活動の指導	時間と学校教育活動全体の指導の機能的な併用
		P7-13	齋藤 萌恵	通常学級の担任が経験する発達障害児に対する周囲児の質問やトラブルに関する調査研究	
		P7-14	山口 明乙香	働く障害者の「働く上で心がけている点」に関する研究	-知的障害者と発達障害者を中心とした分析と就労継続意向の影響の考察-
		P7-15	矢野川 祥典	特別支援学校の現場実習における構造化と視覚支援の検討	ー合理的配慮の提供を踏まえてー
		P7-16	丹野 哲也	特別支援学校小学部知的障害者用国語教科書 の題材を活用した「学習支援ツール」の開発・進捗について	
		P7-17	松葉佐 正	認知的反応への教育的介入が奏効した嚥下恐怖症の一例	
		P7-18	尾鷲 百佳子	年長児の保護者における小学校就学準備の認識に関する予備的研究	出生順による比較
		P7-19	伊藤 貴大	発達支援に関する保育者研修における知識評価指標の文献的検討	応用行動分析学の理論に基づく研修に着目して
		P7-20	池内 豊	発達障害のある高校生に対するキャリア教育プログラムの開発	ー教育・福祉領域における活用例の整理ー
2025年11月2日（日） 11:00～12:00	ポスター発表㉕	P8-1	岡本 邦広	発達障害のある児童生徒に対する教師の指導に関する実態調査	
		P8-2	三浦 巧也	発達障害またはその可能性がある高校生に対する支援の在り方を成人期の社会適応から探索する	ーSSTグループの効果検証を通してー
		P8-3	脇坂 茉里	発達障害児の学習空白を支える学習支援ボランティアの育成	
		P8-4	藤中 秀彦	発達障害児の親支援ためのグループワーク	新潟病院方式「ペアレント・サポート講座」の効果
		P8-5	倉持 尚人	発達障害児支援のための放課後等デイサービス事業所と特別支援教室の連携の現状と課題	東京都内の放課後等デイサービス事業所での調査から
		P8-6	中川 栄二	発達障害併存患者におけるてんかん診療支援 コーディネーターの役割	
		P8-7	梶 香織	発達障害様症状のある児童の感情理解の発達の特性	
		P8-8	菅 達也	肥後盲啞保護会の設立と終焉	私立熊本盲啞技芸学校・熊本盲啞学校の支援組織
		P8-9	志道 不二子	保育所における「気になる子ども」の実態調査と支援の課題	ーY市保育所の実態調査からー
		P8-10	小池 由香里	保育所におけるケース会議のための ファシリテーション研修	-ファシリテーターとしての実践のふり返りが及ぼす効果-
		P8-11	仙波 梨沙	保護者と教員の認識のずれを減らす橋渡しの支援	作業療法士が関与した学校支援の一事例